

## 東京芸術大学百年史刊行にあたって

東京芸術大学の前身である東京美術学校および東京音楽学校の創立以来、現在に至るまでの同大学百年の歴史を、その創立前史を含めて『東京芸術大学百年史』として刊行する。当初全六巻の予定であったが、資料収集と編集作業の進展に伴って計画がふくらみ、いま全十巻（東京美術学校篇三巻、東京音楽学校篇二巻、美術学部篇一卷、音楽学部篇一卷、演奏会篇二巻、制度篇一卷）として刊行の予定である。

学内に百年史編集委員会が組織され、この計画が具体化したのは昭和五十六年のことであったが、すでにそれ以前より美術学部美術教育学研究室、教育資料編纂室および音楽学部音楽研究センターにおいて、それぞれ同大学における芸術教育史資料の収集と研究は進められていた。これらの蓄積された資料を基礎に、改めてその充実と具体的な編集活動に入り、昭和六十二年にまず美術学校篇・音楽学校篇各第一巻を、平成二年に演奏会篇第一巻を、同四年に東京美術学校篇第二巻を刊行した。今回は東京美術学校篇第三巻を刊行し、同時に別巻として『上野直昭日記』を刊行する。

資料の提供と協力を仰いだ諸機関ならびに卒業生、その関係者をはじめとする多くの方々にあつく感謝するとともに、先の長いこの仕事に今後の大方の協力を切に願う。

平成九年三月

東京芸術大学百年史編集委員長 水野敬三郎